

『生活習慣と脂肪肝炎。歯磨きで脂肪肝炎を予防？』

肝臓川柳 『歯磨きで 肝線維化 死守しよう(歯周病)』



(ベター⇒ベーター⇒ β ⇒IFN β や経口新薬治療に期待)

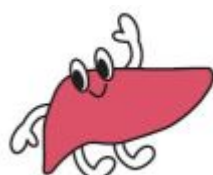
細菌が脂肪肝の進展に影響を与えていることが最近相次いで報告されています。

一方、歯周病の原因の一つである *Porphyromonas gingivaris* (P. g) には、人体に有害な細菌由来物質が存在し、歯からの感染が糖尿病や心血管系などの全身疾患に影響をおよぼすと言われています。

歯周病菌 (P. g) は、歯周囲の組織から血管を介して肝臓にも直接感染することです。最近、脂肪肝炎の患者さんの肝生検組織を検討したところ、歯周病菌 (P. g) の陽性率が健常人より有意に高く、菌陽性例に肝線維化進展例が多くみられると報告されました。すなわち、脂肪肝炎の患者さんでは、歯周病菌感染が多く、歯周病菌が肝線維化進展に関わっていることが明らかになりました。

肥満、喫煙、アルコール、運動不足に加えて、歯周病菌も脂肪肝炎に重要であり、歯周病の治療や“歯磨き”の厳行が必要です。

脂肪肝炎の患者さんの生活習慣改善はますます重要のようです（厳しい！）。



これだけ覚えておけば損はない！

今回のポイント

歯周病菌 (P. g) は、歯周囲の組織から血管を介して肝臓にも直接感染します。

脂肪肝炎の患者さんでは、歯周病菌感染が多く、

歯周病菌が肝線維化進展に関わっていることが明らかになりました。

歯周病菌も脂肪肝炎に重要であり、歯周病の治療や“歯磨き”の厳行が必要です。

(文：福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ツ侯 和夫)